

平成24(2012)年4月20日 第49号 会員一夫夫利行子次男  
稻健保尚秀信利昭  
谷上村島坂内子原林  
世岩川寺宮大兼江若  
発行人集編

# 世田谷稻門会会報

事務局 〒156-0043 東京都世田谷区松原5-19-4 横田吉明 方  
TEL/FAX03-3324-7046

1937年 陶芸の街  
浅井慎平氏(写真家)  
作多數。『小説早稲田界隈』ほか著  
第2部では、早稲田OBで写真家として、また多方  
面でご活躍中の浅井慎平氏  
が「ワセダの心、写真の心」  
の演題で、露木茂幹事と対  
談形式でお話しされます。  
お楽しみください。

浅井慎平氏(写真家)  
作多數。『小説早稲田界隈』ほか著  
第2部では、早稲田OBで写真家として、また多方  
面でご活躍中の浅井慎平氏  
が「ワセダの心、写真の心」  
の演題で、露木茂幹事と対  
談形式でお話しされます。  
お楽しみください。

今年度は創立20周年の節  
目の年です。ぜひご参集く  
ださい。

当日ご出席いただけない  
場合は、同封の委任状(返信  
用はがき)にご記名・ご捺印  
のうえご返信くださいます  
ようお願いします。

総会の会費は9000円  
です。

世田谷稻門会の第21回定  
時総会が6月2日(土)午後  
4時から目黒雅叙園で開催  
されます。

総会の詳細については、  
同封別紙の「第21回定期總  
会のご案内」をご参照くだ  
さい。



愛知県瀬戸市生まれ。

早稲田大学政治経済学部

在学中から映画作家を志し  
シナリオを書き、撮影所に  
通っていた。

1966年写真集「ビ  
トルズ東京」でデビュー。

日本広告写真家協会賞、  
東京アートディレクターズ  
クラブ最高賞、日本写真家  
協会賞など受賞多数。

写真表現のほか文芸・音楽・  
映画・工芸などの分野でも  
活動。

## 世田谷稻門会第21回定期總会 浅井慎平氏が講演 6月2日(土)目黒雅叙園



=母校の今= 第22回

### 創立以来31年目を迎えた<エクステンションセンター> =多様な学び方を提供する早稲田の生涯学習プログラムに注目=

およそ1,500の公開講座を擁し、「早稲田大学オープンカレッジ」を開設する「エクステンションセンター」(写真)が昨年9月24日、創立30周年を、また同センターの八丁堀校が開設10周年をそれぞれ迎えた。

同センターの加藤哲夫所長(法学学術院教授=法学部長、法学学術院長、図書館長を歴任)はその記念式典の冒頭の挨拶の中で、早稲田大学が、創立当初より校外生に向けた「早稲田講義録」の刊行や、各地で開催された「巡回講話」などを通じて生涯学習の推進に取り組んできた歴史を紹介、センターは今後とも学ぶ人の目線に立ち、「自らデザインし、自ら学ぶ」人たちを応援していきたい、とその決意を述べている。

ここで、早稲田の生涯学習プログラムの設置箇所とその講座名を、全体のほんの一部だが以下に紹介してみよう。



- 1) **早稲田校:**「近代文芸の百年」、「近代日本政党史」、「考古学入門」、「世阿弥を読む」、「心理学入門」、「川柳の文化探訪と実作」など。
- 2) **八丁堀校:**「和歌と伝統文化」、「管理職のためのリーダーシップ講座」、「日本語の論理構成-日本語文書作成技法-」、「隅田川トポグラフィー(地形学)」など。
- 3) **学生キャリア形成支援:**「法曹をめざす基礎講座(2012年4月開講)」、「公務員試験対策講座」、「大学生のための就業力・就活力向上セミナー」など。
- 4) **eラーニング講座:**「自分と向き合う心理学」、「やさしく楽しい統計学」、「『我々は猫である』解説」、「ロジカルプレゼンテーション」など。

これらの講座以外にも、受講生の学習ニーズに対応した多彩なプログラムが用意されている。詳細はエクステンションセンターへ。

\*問合せ先: 03-3208-2248

貴方も再び早稲田で学んでみませんか。

(大内 秀行/記)

## 新春懇親会華やかに

本年、設立20周年を迎える当稻門会は、新しき門出とさらなる発展の願いを込めて、1月21日(土)新春懇親会を開催しました。会場は目黒雅叙園の2部屋を借り切り、第1部は講演会、第2部は懇親会と、あいにくの氷雨のなかではありますましたが、ゲストの杉並稻門会山田實会長、狛江稻門会幹事長、世田谷三田会幹事様など124名の参加者を得て、新春らしく華やかなスタートをきりました。

講演会は、その幅広いご活動で、皆さんご承知の小沢昭一氏に、これまた希代の名アナウンサーで当会会員の露木茂氏がインタビューするという対話形式で行われました。肩

のはらないお二人の和やかなやりとりの中に懐かしい我々の早稲田時代が彷彿として、共感された方も多かつたこと

と思います。

続く第2部では、会員の居住区域によるブロック会ごとの円卓に着き、バイキング、

北」をうたうのは、なかなか氣分の高揚するものでした。

年初に肩を組んで、「都の西北」をうたうのは、なかなか北」をうたうのは、なかなか氣分の高揚するものでした。

福引など、歓談の続くなか、「都の西北」の唱和、またゲストの世田谷三田会の「若き血」のエール交換で幕を閉じました。

北」をうたうのは、なかなか氣分の高揚するものでした。

岡容の指導を仰いだ。海軍兵学校に入校するも、3ヶ月で終戦。後、早稲田文学部仏文科に入学。

大学進学は大好きだったオフクロの望み。入学のときにオフクロは大隈さんの銅像をおがんどうつたね。

在学中はアルバイトなどでも忙しく、週に一度しか行かないところでの「週刊誌」のあだ名がついた。一方、河竹繁俊先生、暉嶠康隆先生にお世話をになって、寄席文化研究会(落語研究会)をつくつたり、今村昌平、川島雄三と交流する。

昭和27年卒業後は、在学当時の小川宏ショードで小沢さんが、鉄道唱歌を大阪まで67番歌われたことがあります。あれは今でも局で語り草となっています。

おもしろくておもしろくて、仕方ない。好奇心で生きてる

ところになる。俳優としての地歩を確立してからも多方面に発展。早大演劇部大学院に通つて、郡司正勝先生のもと、芸能の原点を求めて、日本の伝統芸、放浪芸の収集、発掘を始めた。

周防の猿回し芸復興もその一つ。

— もともと下世話なものを

## 平成24年度世田谷稻門会創立20周年 記念イベント開催と記念会報発行



### 「小沢昭一的こころ」を 稻門会で 対談要旨

世田谷稻門会は24年度創立20周年を迎えます。  
20周年の記念イベントを11月17日(土)目黒雅叙園で開催します。

「白石信(写真)と早大ナレオハワイアンズOBバンド」の皆さんによる演奏と現役早大女子学生のフラダンスの出演など盛り沢山の催し物を計画しています。ぜひ皆様のご予定に組み込んでおいてください。(なお、24年度の納涼会は行いません)。また20周年記念特集会報を12月20日に発行します。

小沢さんの実家は写真館。幼少のころから育った蒲田には、寄席あり、撮影所ありで、今

もこの地にふるさと感を抱いているという。麻布中に進学し、の工房交換で幕を閉じました。

— 早稲田というと、貧乏な時代を思い出す。したわしい。情が通っていた時代、貧乏はよかったです。

大学進学は大好きだったオフクロの望み。入学のときにオフクロは大隈さんの銅像をおがんどうつたね。

在学中はアルバイトなどでも忙しく、週に一度しか行かないところでの「週刊誌」のあだ名がついた。一方、河竹繁俊先生、暉嶠康隆先生にお世話を

になつて、寄席文化研究会(落語研究会)をつくつたり、今村昌平、川島雄三と交流する。

昭和27年卒業後は、在学当時の小川宏ショードで小沢さんが、鉄道唱歌を大阪まで67番歌われたことがあります。あれは今でも局で語り草となつてあります。

おもしろくておもしろくて、仕方ない。好奇心で生きてる

ところになる。俳優としての地歩を確立してからも多方面に発展。早大演劇部大学院に通つて、郡司正勝先生のもと、芸能の原点を求めて、日本の伝統芸、放浪芸の収集、発掘を始めた。

周防の猿回し芸復興もその一つ。

— もともと下世話なものを

聴かせていただいた側も共感できる点も多く、それだけにほのぼの励まされる対談でありました。(兼子信子/記)



## 部会だより

### 俳 句

第71回さくら句会は、2月15日(水) 桜新町駅前の蕎麦屋権八にて昼食を楽しんでから、日下野由季先生から前以って出された兼題の『猫の恋』と季節に相応しい自由句を持ち寄って開催されました。当日の句会での高得点を紹介します。

鈴音を闇に残して恋の猫	日下野由季
義士の日や小粒となりし塩万頭	暮田 忠雄
鉢植に水たっぷりと春を待つ	松尾 守
恋猫の行方知らずになりにけり	沼田 宣子
節電の駅舎深閑霜の夜	田中 勝
喜寿祝妻へ手渡す冬薔薇	草谷 好孝
夕暮れの外人墓地や枯すすき	富塚 兆弥



さくら句会は原則として毎月第3水曜日の午後1時半から開催されます。俳句を通して日本の素晴らしい四季と一緒に楽しみませんか。

連絡先： 江原利次 電話/FAX: 5760-7118 メール : toshi@r01.itscom.net

(江原 利次/記)

### ウォーキング

2月12日(日) 有楽町線月島駅午後1時に18名が参加。佃公園で軽く体操をしてから住吉神社でお参りを済ませ、江戸時代から続く佃煮屋に立ち寄り、隅田川の佃大橋を渡って明石町河岸公園から聖路加ガーデン展望ブリッジへ歩き暫し休憩。シーボルトの胸像や解体新書出版の碑を眺めてから漁師ゆかりの波除神社を経て最終目的地の築地本願寺に到着。



3月は、徳川を支えた女たち一千姫の伝通院を巡るコースを歩いて往時を偲びます。

平成24年4月～25年3月の具体的な月別ウォーキングコース一覧表がありますので、ウォーキングに参加したい方は連絡して下さい

連絡先： 江原利次 電話/FAX : 5760-7118  
メール : toshi@r01.itscom.net

(江原 利次/記)

### ゴルフ

A) 2012年 コンペ日程は下記のように決まりました。

第70回世田谷稻門会	2012年3月29日(木)	中津川CC
第6回三田会・稻門会	2012年5月17日(木)	桜ヶ丘CC
第71回世田谷稻門会	2012年6月8日(金)	姉ヶ崎CC東コース
第72回世田谷稻門会	2012年9月12日(水)	富士国際GC富士コース
第7回三田会・稻門会	三田会主催で10月～11月に開催予定	
第73回世田谷稻門会	2012年12月4日(火)	桜ヶ丘CC

B) 第5回三田会・稻門会懇親コンペ報告

昨年11月24日(木) 三田会主催の下、相模カンツリー倶楽部で開催されました。

競技方法は従来通り新ペリア方式を採用し、個人戦を行いました。優勝は稻門会の井口昭氏（ネット71.2）、準優勝は同じく稻門会の森昌治氏（同73.4）、3位は三田会の佐藤直司氏（同73.6）となりました。

また各会の上位5名で争う団体戦は稻門会の平均スコアは74.7、三田会は74.8となり、僅かの差で稻門会が勝ち、春に続く連勝となりました。

参加者は三田会13名、稻門会17名の合計30名でした。

(工藤 隆司/記)

### 青 年

#### 【3年目を迎えた青年部会】

仕事や家事をバリバリこなしながらも、時折、同じ地域の校友たちと思いっきり親睦を深めたいー

そんなマイペースで欲張り(?)なメンバーで構成される青年部会も3年目に突入しました。

不定期に集まる部会はこれまで5回を数え、着々と会員も増えてきました。年齢層は20代から50代までと幅広く、平日の居酒屋を中心に和気あいあいと会話を楽しんでいます。今後も、明日への活力に繋げられるような企画を用意できれば、と考えている次第です。乞うご期待！

年齢にかかわらず「青年の心」をお持ちの方であれば、どなたでもご入会頂けます。  
奮ってご参加下さい。

(西村 准也 /記)



## パソコン

- 1 恒例の通り、毎月第2・第4火曜日の午後2時から4時迄、松濤町の会員のマンションを会場として活動した。
  - 2 毎回会員の約半数に当たる10人前後の出席のもと、企画担当世話人を中心活動した。
  - 3 活動の内容としては、企画担当世話人の用意したソフトを使用して、パソコンの様々な使用方法を経験した。
    - 1) 自分の印章の作成
    - 2) 簡単名刺の作成
    - 3) Windows2003と2010の互換性の簡便識別法
    - 4) ワードを使用して画像に文字を挿入する方法
    - 5) パソコン全体の簡単な拡大・縮小方法
    - 6) Jトリムを使用した画像画面への文字の挿入方法
  - 4 今回の活動中にも、各自のパソコンのWindowsのレベル（Vista/Xp/2010等）の違いにより、操作方法が微妙に異なり、うまく作動しないケースがあった。参加会員全員でその解決方法を検討しながら、パソコンの理解を深めることができた。
- (高橋 豊/記)

## 食べ歩き

- 1) 平成23年12月1日、第50回を麻布十番「富麗華」にて開催しました。参加者は33名でしたが、2階の豪華なホールが貸し切りとなりゆったりした空間の贅を、美味な料理と共に味わいました。焼物前菜、蒸し点心、海鮮と衣笠茸のスープ、北京ダック他三品の広東料理です。司会は岸田正和さん、乾杯の発声は宮木さんにお願いしました。胡弓の演奏を聴きながら紹興酒で陶然となり、楽しい歓談が続きました。締めは岩上会長の音頭で校歌を斉唱、閉会となりました。なお「富麗華」の担当マネジャーは法学部卒の後輩で気配りが見事でした。感謝、感謝。
  - 2) 平成24年2月25日、第51回「北大路赤坂茶寮」で開催。参加者は37名日本料理を楽しみました。
- (柏 良子/記)



## 囲碁

寒い冬も昨今はちらほらと和らいだ日が続き、春の到来の兆しが見えてまいりました。囲碁部の皆様も3月中旬になり梅から早咲きの桜の季節に変わるので楽しみにしておられると拝察いたします。気候の変化について行けず風邪などを引かぬようにご留意下さい。

さて昨年は年内にもう一度碁会をやつたらどうかとの意見がでたので、11月と12月17日(土)世田谷区立老人休養ホーム『ふじみ荘』にて第39回囲碁部会を開催いたしました。忘年会など年末の忙しい季節だったので総勢で7名とやや少人数でした。碁局は池松7段の圧勝に終わり、活気のある碁会でした。

次回は4、5月頃予定しておりますので、会場が取れしだい後で連絡いたします。

(矢田 廣/記)

## 麻雀

1. 晴天の10月15日(土)、24名の善男善女が祖師ヶ谷大蔵駅徒歩3分の麻雀荘「天狗」(以下開催場所は同一)に集い、腕と口を競った。試合は初回から飛ばした秋元氏が2位以下にダブルスコアの大差をつけ優勝した。優勝 秋元孝禧、準優勝 桃井清治、3位 宮本甫、4位 高橋義幸、5位 古谷珠樹、6位 脇坂元彦
  2. 好天の11月13日(日)、28名の紳士淑女が覇権を争った。ベテランの草谷氏が回を経る毎に順位を上げ、追いかがる武田氏を躊躇し初優勝を遂げた。優勝 草谷好孝、準優勝 武田一成、3位 飯田保則、4位 吉村善智、5位 宮木甫、6位 脇坂元彦
  3. 来年の運勢を占うべく12月17日(土)、28名の腕に自信のメンバーが集い賜杯を争った。人生・雀歴共にトップクラスの阿部氏が2位以下にダブルスコアの大差をつけ、初優勝した。優勝 阿部信之、準優勝 高橋義幸、3位 吉村善智、4位 長谷川義樹、5位 飯田保則、6位 吉村登喜子
  4. 屠蘇気分も覚めやらぬ1月15日(日)、25名の自称雀プロが集い卓を囲んだ。初回最下位の国澤氏が一念発起、最終回まさかの逆転満星大ホームランを放ち、奇蹟の初優勝を遂げた。優勝 国澤俊一、準優勝 遠藤純子、3位 高橋毅、4位 武田一成、5位 橋本大道、6位 高橋義幸
- (下谷内 勇/記)

## 芸術・芸能鑑賞

新年に入り、今年1、2月は厳寒が予想されたので休み、3月以降の鑑賞会を相次いで案内した。「岡村喬生の冬の旅」を3月11日、花田さんの「ポピュラー音楽祭」を3月17日に、一番人気の「第566回三越落語会」を3月22日で案内した。又、「アンサンブル of トウキョウ定期演奏会(年4回)」も併せて会員募集を行った。更に久し振りに有志で歌舞伎鑑賞を4月18日に国立劇場で片岡仁左衛門、中村時蔵、片岡愛之助他出演を鑑賞予定。



尚、例年5月に鑑賞会を通例としていた「文楽鑑賞会」は都合により9月に開催する。新規入会を歓迎します。

世話人：柏 良子 麻生卓司 鈴木宏治

申込み先：鈴木(T E L / F A X 03-3307-2201)

(鈴木 宏治/記)

## カラオケ

①昨年の11月27(日)「カラオケ教室」は若林の「花の木」でプロ歌手の下北龍一先生(ティチク/徳間ジャパン所属)をお招きして開催、17名参加。レッスンプロでもある先生のキーボード伴奏で発声練習し、先生の新曲「今度こそ」を譜面を見ながら曲テープを繰り返し回して、数小節ずつ細かい歌い方のテクニックを学びました。レッスン中のアルコールは無しですが、後半は「今度こそ」を復習したり好きな曲を歌い散会しました。

②12月3日(土)第57回12月定例会はコートダジュール下北沢で8名参加。

③1月15日(日)「新年会」は千歳船橋の「マダムチョウの店」で開催、19名参加。

昨年の3.11東日本大震災後は被災者を励ます歌声が地球規模で沸き起こり、あらためて“歌の力”的素晴らしさを実感しました。我々もこれから100歳を目指してカラオケだ！とレベルの高い熱唱で盛り上がり、最後に岩上会長のリードで校歌斎唱し、新年がスタートしました。

(倉田 豊/記)



## ボウリング

### 23年度末で廃部

世田谷オーケラボウルにおける、渋谷稻門会との合同例会、次の通り開催。

2011年11月27(日) 参加者8名 172点松野文彦、154点天野善弘

12月25(日) 参加者6名 156点加藤隆夫、139点西喜永治

2012年1月29(日) 参加者6名 168点天野善弘、150点齊田裕一

3月4日(日) 参加者4名 160点西喜永治、138点佐山順孝

当部会は平成8年9月発足、翌9年7月渋谷稻門会との毎月1回の合同開催を始めて以来、アツという間に152回。さすがに、昨年以降部員の高齢化、体調不良等による退会者が急増して参加者数も減少。今後増加の見通しも困難な状況になってまいりましたので、残念ながら3月末をもって廃部とさせていただくことになりました。長年のご声援有難うございました。

(武藤 哲/記)

## 釣り

年末より2月にかけての東伊豆磯釣りは8回釣行、主として稲取大堤防、最大36cmのメジナ釣る。(柴田)  
12月18日久比里山下丸カワハギ釣りに7名参加。さすが江連氏14枚。肝が入り刺身最高に美味であった。

1月16日恒例の新年会を銀座魚や一丁にて若い女性も加わり11名参加。

1月29日金沢八景弁天屋よりキス釣りに5名参加。寒気も強かった為か魚の喰いも悪く不漁。成田氏の16匹が最漁。



2月26日金沢八景新健丸よりイシモチ釣り。寒さの為か3名参加。国澤氏36cmのイシモチやカサゴを釣る。

3月11、18日伊豆天城、狩野川上流にて渓流釣り。岩魚27cm出る。週末雨降のため水流多し。

今後の予定：3月25日ヤリイカ。4月22日剣崎沖真鯛。5月20日金沢八景イシモチ。4月14日、28日、5月12日霞ヶ浦、北浦真鯛乗込み釣り。

(柴田 昇/記)

## 写 真

### (1) 実績報告

例会：10時～13時30分 東京農大校友会館 教室

11月17日、12月22日、1月19日、2月16日、3月15日の各木曜日

### (2) 今後の予定

例会：4月19日、5月17日、6月21日、7月19日の各木曜日

従来8月は休会していましたが、今年から2月を行いましたので、8月に行うのか今後検討します。

ホームページの利用を近々いよいよ実行致します。会員の作品を見ていただき興味を持たれたら是非一度例会をご覧下さい。作品のジャンルやカメラの機種（銀塩カメラ、コンパクトデジカメ、一眼レフデジカメラなど）は何でもよく、発表はプリントで行いますので、プリントが上手くなりたい方は参加いただければ直ぐにレベルが上がります。

(種谷 鴻成/記)

## キャロット

## ブロック会だより

2011年11月26日(土) 午後5時30分より、キャロットタワー26階のスカイキャロットにおいて、キャロット会の忘年会を世田谷稻門会ブロック担当役員(玉川会)の浜田康夫さんを迎えて合計20名の出席で開催致しました。

最初に不動産鑑定士の井口昭さんに「世田谷区の地価動向」と題してスライドを使って講演して頂きました。質疑、応答の後、昭和28年卒業の奥田隆さんの乾杯の発声で宴会が始まり、出席者全員〔天野、井口、榎並、遠藤、奥田、加藤、川井、久保、西喜、佐野、辻村、富塚、中井、萩原、橋本経男、花田、浜田、東、御園生、守谷〕(敬称略)が近況報告を行いました。

最後にスカイキャロットにアルバイトで働いていた現役の田村君を交え「都の西北」を齊唱、エールを行い。散会致しました。

2012年も11月26日(月)に忘年会を開催します。

(富塚 兆弥/記)



## 玉 川

玉川会新年会は2月5日(日)に東急線多摩川駅近くの、田園調布俱楽部で開催しました。これで3年続けて田園調布俱楽部で開くことになりました。

今年の冬は寒い日が続きましたが、新年会当日はとても暖かな日で、2階の会場は窓越しに穏やかな陽光が差し込んでいました。ここで開催すると毎年素晴らしいお天気になりますね！と嬉しそうな声が聞こえてきました。

本部から岩上会長と麻生幹事長が出席してくださって、婦人9名を含めて総勢で34名の参加となり、岩上会長のご挨拶のあと、麻生幹事長の乾杯の発声で会が始まりました。

明るく和やかな雰囲気の中で楽しい歓談と食事が進んだあと、ヒップホップダンスを長年続けている谷田辺茂さんからヒップホップダンスの紹介が始まりました。音楽を流しながら専用の衣装を身に着けて身振り手振りで、谷田辺さんがその場で選んだ数人の出席者をお相手にヒップホップダンスを指導しました。将来、指導を受けた方の中からヒップホップダンスの達人が出るかもしれません。

恒例の席替えで会場をまた別の楽しい雰囲気に包み込みながら、3時に別れを惜しみつつ散会となりました。

(井澤 貞夫/記)

## さ く ら

さくら会の開催を3月4日(日)に予定していましたが、突然、会場の『ミラノガーデン』が3月1日をもつて閉店してしまいました。部屋が広くゆったりしていて良かったただけに、先のラピアンタの閉店に引き続き、数ヶ月足らずしての倒産には我々も驚いています。今回の参加予定者は総勢で26人に上っていたので、会場の都合が付かず、やむなく延期しました。次回は会場を選ぶ必要があるので6～7月頃を予定しています。事前に倒産を見抜けなかった点、ご迷惑をお掛けして大変失礼を致しました。

さくら会のテーマである『わが人生を語ろう』では学生時代の懐かしい早稲田の思い出、当時早稲田及び世間ではどんなことが起こっていたか、あなたにとって、その後の人生について一番印象に残ったこと。翻って、最近の世相、今年の景気、政治、経済等。趣味でも過去の仕事でも第1の人生、第2の人生でもなんでも結構です。何かふつふつと燃える思いを誰でももっていると思います。その熱き思いを語ってください。

(矢田 廣/記)

## ち と せ

12月3日(土)、見学会および懇親会開催。

- (1) 見学会。14時調布駅改札口に集合。参加者7名。同駅事務所において調布駅付近の地下化工事、立体交差事業の概要について説明あり。終わってヘルメットを着用、トンネル内を歩行しながら約2時間、工事現場を見学。京王電鉄の発展が楽しみ。
- (2) 懇親会。17:30~19:30。「サンマルク芦花公園店」、参加者20名。岩上会長、柏副会長、前原(元)幹事長の参加を得て、フランス料理のフルコースにて実施。まずは鈴木世話人の司会による見学会の報告、終わって岩上会長の挨拶を頂き、各人お好みの飲み物でグラスを交わしながら楽しく会話に花を咲かせてのアッという間の2時間。次回の元気な再会を約して各人帰路につきました。

(武藤 哲/記)

## け や き

昨年11月13日(土) 小田急線千歳船橋徒歩4分、欧風レストラン「オー・ランデブー」にて本年第3回の懇親会を開催した。当会代表並びに副代表世話人の挨拶・活動方針の説明に続き、当会世話人である内田孝氏の財産相続のお話「あなたの相続財産はいくらですか?」に入った。

豊富な資料とユーモア溢れる分かり易いお話に出席者一同、自分の相続財産を暗算し、微笑んだり、がっかりする風景がそこかしこに見られ、活発な質疑応答にてきぱき答えられ好評裡に終了した。次いで新人紹介、会員の近況報告、下部組織である各趣味の会の活動状況報告、各会員間の談笑等一同楽しく飲み、喰い、懇談し、校歌を齊唱し、次回の再会を約し散会した。

(下谷内 堯/記)



## き ぬ た

きぬた会の平成23年度の活動は、6月5日の第1回目、9月17日の第2回目に引き続き、第3回目は平成24年2月18日に、開催場所を従来の新日鐵代々木俱楽部から、NHK青山荘に変更して開催された。

今回は趣向を変え、会食の前に、岡本太郎記念美術館を参加者12人全員で参観した後、昼食会の形式となった。少人数であったが、商学部出身で医者という変わった経歴の新入会員「中山久徳氏」を迎えて、和気あいあいの雰囲気で、参加者全員が楽しみながら終了することができた。

次回は昨今話題となっている、直下型地震の対応をふくめて、適当な講師を迎えて、講演会と会食をセットにした会合とするべく、幹事会で講師及び開催時期を検討する予定である。

(高橋 肇/記)

## 西 北

\*例会 11月25日(金) 18時より参宮橋「新日鐵代々木俱楽部」にて赤羽根邦雄氏(40年政経)による“新春箱根駅伝予想”と題してお話を頂きました。3位予想でしたが残念。21名の参加でした。好評につき定例行事の予定。

次回は3月30日(金) 18時より同場所に於いて前原祖彦氏(25年理工)より講演を頂く予定。

\*西北ゴルフ会 12月16日(金) 快晴の“日高カントリー”で開催。2組8名の参加。下北沢にて何故かゴルフ参加者より多い10名にて麻雀会。

2月8日(水) 肌寒い一日でしたが奥野裕氏(33年商)のメンバーコース名門“霞が関カンツリー”にて2組8名の参加にて開催。夜は勿論梅丘に集合し麻雀会。

\*初詣 恒例の初詣を1月6日(金) 夕刻 矢島嗣久氏(32年法)が宮司を務められている北澤八幡神社に有志でお参りをしました。13名参加。

\*西北雀会 毎月第4木曜日に下北沢にて開催。毎月3~4卓で楽しくやっております。我こそはと思わん方は幹事桃井清治氏まで。

(松浦 晋三郎/記)



## 会員のひろば

「ずっとスキーで人生を一  
弁護士を目指した動機」

犀川千代子(昭34年法)



(一)、今年  
の正月も例  
年通り家族  
で福島の裏  
磐梯にスキ  
ーに行つた。

吹雪の中でも時々差し込む陽  
の光に浮かび上がる雄大な磐  
梯山を眼前に貸し切りのよう  
に空いている広大なゲレンデ  
スキーを楽しんだ。既に3年の  
キャリアを持つ6歳の孫とそ  
の両親、70代のわたし達夫婦の  
一条乱れぬ長いトレーンは、ス  
ノボーの若者達の拍手を呼んだ。

(二)、山とスキー歴は長い。山  
脇学園という女子校で、中高時  
代、若い男性教師を中心にでき  
た登山クラブに入っていた。丹  
沢、箱根、秩父、夏には北アルプ  
ス、冬はスキーとわたしは山の  
魅力にとりつかれていた。山で  
将来について語り合つた。わた  
しは、一生山とスキーを続けた  
い、と言つた。教師は、それは難  
しい、と言う。なぜなら、君は女  
だからー女の人人は結婚する相

手によって人生が決まるーど  
うしても山を続けたいなら自  
立して生きてゆくしかない、で  
も今の日本で女人人が自立し  
てゆく道は、医者か、女優か、弁  
護士か、3つしかないね、と。理  
科は苦手だから医者は駄目、ブ  
スだから女優も駄目、とする  
士つてどんな仕事か、見たこと  
も聞いたこともない。小説の中  
でかすかに知る位だ。でも、弁  
護士になるための司法試験は  
女でも受けられるよ、という言  
葉が頭に染みついた。

高2のとき、創立50周年の学  
園祭で、「ヴエニスの商人」を原  
典に沿つて演じた。わたしは主  
役のシャイロック。今でも詩の  
ような韻の節回しを覚えている。  
ここで初めて「法廷」「裁判」「正  
義」を、架空の世界で体験し、正  
義の実現を果たす弁護士は凄い、  
と思った。

この妄想のような弁護士志  
望が現実化した事件があつた。  
高3の時、どの教科もトップを  
ゆく才媛のSと親友になつて、  
は4名。初めて同世代の男性と  
大抵の事件に対して自信を持  
てきの弁護士稼業、75歳の今も  
現役。長いキャリアを積んで、  
大きく辿り着いたような気がする。  
人様の悩みを背負い込んで、考  
え悩みつつ、山頂を登り詰めて  
つ黒の学生服の大群は、まるで  
カラスの群れのようで異様に  
似ていて好きだ。常に弱者の

紹介していただいた。  
(三)、昭和30年、早稲田大学第  
一法学部入学、740名中女性  
は4名。初めて同世代の男性と  
大抵の事件に対して自信を持  
てきの弁護士稼業、75歳の今も  
現役。長いキャリアを積んで、  
大きく辿り着いたような気がする。  
人様の悩みを背負い込んで、考  
え悩みつつ、山頂を登り詰めて  
つ黒の学生服の大群は、まるで  
カラスの群れのようで異様に  
似ていて好きだ。常に弱者の

ところが、高3の3学期、Sの父  
親は社長で、東大生の家庭教師も  
いたのでよくSの家で勉強した。  
4年制大学受験を目指して、毎  
日放課後水道橋の予備校研数  
学館に一緒に通つた。Sの父  
親は小規模企業でしたが、新卒採  
用意欲はどの会社も旺盛であり、  
人事を直接統括するいろいろ  
な社長さんのもとに足繁く通

兩親が突然離婚した。父親は愛  
人と別世帯をつくつて、Sら兄  
弟3人とその母親が放り出さ  
れた。長女のSはもはや大学ど  
ころではなく、家族を養うため  
に働かなければならなくなつた。  
この残酷で理不尽な出来事を  
目の当たりにして、幸せそうな  
妻の座のもろさとそんな女性  
を助けるのが弁護士だと知つた。  
もうどうしても弁護士になる、  
と決めて、周囲の反対に抗して  
大学は法学部を選んだ。女子大  
部とは、この学校では前代未聞。  
女子の子の教育にこれ以上金は  
かけられない、というわたしの  
両親を教師が説得してくれた。

大学院にも入つた。昭和37年司  
法試験合格。早大からの女子合  
格者第1号、学校でもマスコミ  
でも話題になつた。しかし、大学、  
司法研修所、弁護士界と圧倒的  
な男社会の中に潜り込んでは  
みたものの、自分がいかに世間  
知らずか思い知らされて、右往  
左往一人で悩むことも多かつた。  
(四)、あれから丁度50年、結婚、  
3児の子育てと怒濤のような  
時期もなんとか乗り越えて、殆  
ど休むことなくこつこつやつ  
てきた弁護士稼業、75歳の今も  
現役。長いキャリアを積んで、  
大抵の事件に対して自信を持  
てきの弁護士稼業、75歳の今も  
現役。長いキャリアを積んで、  
大きく辿り着いたような気がする。  
人様の悩みを背負い込んで、考  
え悩みつつ、山頂を登り詰めて  
つ黒の学生服の大群は、まるで  
カラスの群れのようで異様に  
似ていて好きだ。常に弱者の

ところが、高3の3学期、Sの父  
親は社長で、東大生の家庭教師も  
いたのでよくSの家で勉強した。  
4年制大学受験を目指して、毎  
日放課後水道橋の予備校研数  
学館に一緒に通つた。Sの父  
親は小規模企業でしたが、新卒採  
用意欲はどの会社も旺盛であり、  
人事を直接統括するいろいろ  
な社長さんのもとに足繁く通

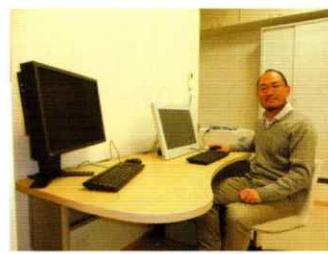
### なぜ私は医師になつたのか?

中山 久徳 (昭63年商)

この度、世田谷稻門会に入会  
しました中山久徳と申します。  
この誌面をお借りして自己紹  
介させていただきます。

昭和40年に東京都豊島区で  
生まれ、昭和59年早稲田大学商  
学部に入学しました。在学中は  
マーケティングゼミに所属し  
実学を学びつつ、夜は高田馬場  
の居酒屋を制覇しようと連日  
のように仲間と飲み歩いてお  
りました。卒業後は株式会社リ  
クルートに入社し、採用広告の  
営業に従事していました。時は  
バブル全盛期。私が担当するの  
は小規模企業でしたが、新卒採

いました。自分の会社を築き上げてこられた豊富な経験を持つ社長さんの話は大変興味深く、考えるよい機会となりました。「僕は本当は何をしたいのだろう?」



私は小学生時より腎臓疾患と診断されて病院通いをしていまして。今となっては治療が不要なものとわかったのですが、当時はいくつもの薬を服用し、日常生活においても体に負担をかけないよう指導されていました。こうした病気に対する画一的な考え方のために私の青春期は欲求不満が募るものになってしまいました。「病気を診ずして、病人を診よ」とは慈恵医大の開祖である高木兼寛先生の言葉です。患者さん的心臓や肺といった臓器の障害にのみ目を向けるのではなく、そのことに悩む患者さんの中の痛みをも理解し診療することが必要だと説いています。自分の経験を重ねてこの言葉の通りだと共感し、この理

念を実践できる医師になりましたと強く願うようになりました。

当時の好景気にも後押しされ、リクルートを退職し医学部受験に踏み切ったのです。平成2年に山形大学医学部に合格し、

緑豊かな蔵王の麓で、学資を稼ぎながらのしんどい第2の大年間で卒業し医師国家試験にも合格することができました。

その後、東京に戻り東京大学医学部物療内科(現、アレルギー・リウマチ内科)に入局し、関節に従事しました。この分野に興味を持つたのは、こうした病気がまさに全身を診るべき対象であつたからに他なりません。

また、特に関節リウマチは近年



HP : <http://www.soshigayaokura-clinic.jp>

## 茶の湯を楽しむ会

盛田  
伯

(昭38年文)

日本茶が  
体に良いのは  
皆さん、ご存  
じです。なか  
でも抹茶は

茶葉の粉末を飲むのですから、健康、長寿に効果大であること間違ひありません。この抹茶は

30年、化粧品会社の販売促進のための美容教育担当として日本、フランス、アメリカの3社で10年ずつ働きました。戦後一人かなど自負しています。

私は早大卒業後、社会人として30年、化粧品会社の販売促進のための美容教育担当として地域医療に貢献したいと思つております。初心を忘れず、人それぞれのライフスタイルを十分に尊重し、患者さんの望む生活を援助できるような医療を提供できるよう努めます。世田谷稻門会の会員の皆様にもお気軽に足をお運びいただけますと幸いです。

今後とも何卒よろしくお願

い申し上げます。

「そしがや大藏クリニツク」

世田谷区砧6-30-1 野原ビル1階

電話 : 03(6411)1535  
メール : h-nakayama.soc@bloom.ocn.ne.jp



(1) 茶席での客としての作法をマスターして茶事を楽しむコース。

(2) 自宅のテーブルで、抹茶を点て、亭主として家族や友人に振る舞うコース。

茶をいただけます。

稲門会の皆様、特に男性の方を歓迎致します。どうぞお出かけ下さい。

抹茶で多くの方々の健康、長寿を願うものです。

慈豊堂 盛田 伯雲

電話 03(3414)1673  
(写真 早大初めての皆様)

を、心地よく、美味しいただすことのお勧めです。

私は早大卒業後、社会人として30年、化粧品会社の販売促進のための美容教育担当として

日本復興に頑張った女性の一人かなど自負しています。

さて、定年退職し、残る日々を有意義に生きるために何を

なすべきかを考え、早大在学中

に身につけ、幸い茶室や茶道具は、母が教えていたので、

それを引き継ぎ、茶道に熱中しました。20年間に師範、茶名号者を10人育て、孫弟子も見られました。20年間で、茶事に引き継ぎました。現在修業中は17人、仕上げるには10年から15年、そのとき私は90歳!

もうそろそろ次の世代に引

き継ぐ時が来たと思うこの頃です。

茶道にはいろいろな流派があり

ます。専門であるリウマチ・膠原病・骨粗鬆症はもとより内科

についても丁寧に診療し、

地域医療に貢献したいと思つております。初心を忘れず、人

のための美容教育担当として

学校の教科になつてからで、

今ではお茶は女性がたしなむものとなつてしまい、「茶道」よ

り「茶の湯」の表現が親しみやすくなっています。

完成された厳しい「茶道」も時代の文化として残しますが、男女平等で椅子の生活様式に合わせた現代の「茶の湯」の楽しさを、もっともっと広めるべきだと思い、月1回、2時間、3人～5人グループのコースを始めています。

時代の文化として残しますが、男女平等で椅子の生活様式に合わせた現代の「茶の湯」の楽しさを、もっともっと広めるべきだと思い、月1回、2時間、3人～5人グループのコースを始めています。

範をした片桐石州侯で、利休流に独自な風格を加えた、武士階級の男性が行つた流派です。

女性が一般的にお茶をならい始めたのは、明治になつて女

のための美容教育担当として

学校の教科になつてからで、

今ではお茶は女性がたしなむものとなつてしまい、「茶道」よ

り「茶の湯」の表現が親しみやすくなっています。

## 新入会・退会・住所変更等のお知らせ 平成24年3月25日現在

名簿(平成21年3月発行)後、会報40号~48号掲載以降分

## 〔新入会員〕

氏名	卒年・学部	郵便番号	住 所	電 話	FAX
中山 久徳	昭63 商				
石上 尚希	昭39理工				
鷺巣 俊子	昭44 文				
利光 克孝	昭42理工				
堤 達也	昭33 商				
小宮山 悟	平02教育				
後藤 丈夫	昭49政経				
中村 京	昭58 法				
清水 晴夫	昭36政経				
田 公江	昭31教育				
白井 健	昭44政経				
山田 光男	昭28 商				

## 〔新入会員・24年度より〕

井澤美知恵	昭38 文
朱 茂	昭58政経
日下野由季	平14 文

## 〔退会会員〕

氏名	卒年・学部	理 由	住 所
分部 満	昭50社学	-	-
村川 敏彦	平06 法	-	-
豊田 宏	昭34教育	-	-
秋元 孝禧	昭30 商	-	-

## 〔住所変更・訂正〕

菅原 俊軌	昭47教育
浜田 康夫	昭34政経
佐伯 憲一	平10 文

## 編集後記

8年前に幹事に任命していただき、広報担当を仰せつかりました。以後今日まで会報制作の編集長もどきの仕事をさせていただきましたが、引き継ぎ当初はまるつきり素人でしたので、誤字・脱字の連続で毎回お叱りをいただきました。

幸いその後優秀な編集委員の方々にも恵まれ、原稿の収集・校正などスムーズに行くようになりました。また昨年からはホームページとの連動・すみ分けも出来つつあり、ホームページを見て入会される方も出てまいりました。私は恐縮ですが、5年前に会員制のメディカル俱楽部の会社を立ち上げたため、徐々に会報の編集に割ける時間が無くなってしまい、今号をもって編集長もどきの仕事から降ろさせていただくことになりました。これからも一編集委員として制作に協力させていただきます。

(寺島 邦夫/記)

## 事務局だより

## 世田谷稻門会ホームページもぜひご覧ください。

(Google,Yahooで「世田谷稻門会」で検索して下さい。)

<http://homepage3.nifty.com/setoupa/>

著名な早稲田に縁のある方がいることがあります。また何よりも問題は、講師は、政界・財界・スポーツ界・芸能界等々、その開始時間にも遅れることがあります。毎回講演がありますが、

一方、当日交通機関の遅れや天候不順でも、受け付けは遅刻の方をお待ちしております。お待ちしております。限られた人員で議事そのものを兼務するお待ちしております。それがいることがあります。

一方、当会の開催場所の扉は閉めても、受付けは遅刻の方が、お待ちしております。お待ちおります。

(事務局 加藤 隆夫/記)

深い方々ばかりです。快く、当会のために時間を割いて下さっているのです。それら名士の方のお話し中に、ドアが再三パタンパタンと開き、ぱらぱらと人が入ってくるのです。誠に講師の方に失礼であり、かつ聴衆の気を散らすこと甚大です。毎度この様な恥ずかしい光景が見られます。現在の在校生は、遅刻しては教室に入れてもらえない授業があるとのことです。

現役時代、会議の開始時間に遅れたり、お客様との約束時間に遅れたりしたでしょうか。時間の束縛から解放されて年月が経つと、時間厳守には努力を要するものかもしれません。